

ピアノのある図書館

お茶の水女子大学
附属図書館

どんなピアノ？

150年以上の歴史をもつ、ドイツのベヒシュタイン社のピアノは、その透明感や色彩感の溢れる音色で多くの音楽家を魅了してきました。その一人であるクロード・ドビュッシーは、「ピアノ音楽は、ベヒシュタインのためだけに書かれるべきだ」という言葉まで残しています。

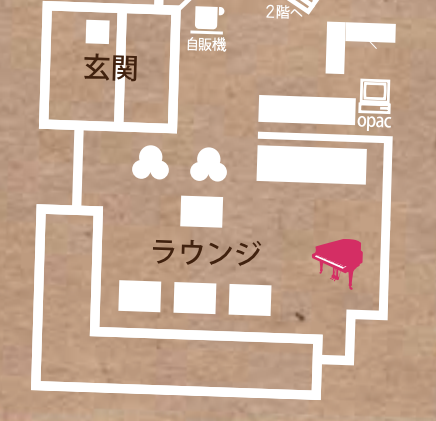
お茶の水女子大学附属図書館にあるベヒシュタイン社製ピアノは1920年代に製作され、1932年に附属女学校(現附属高校)の生徒の父兄から寄贈されました。70年以上にわたり教育の場で活躍するうちに傷みが激しくなりましたが、附属高校の生徒の訴えにより修復され、2003年に元通りの姿によみがえりました。その後2010年に図書館のラウンジへ移されて以降、定期的なピアノコンサートが開かれています。



弦を固定する真鍮製のブリッジ「グララ」や、金属で覆われていないピン板も、ベヒシュタイン独特の音色を作り出す要素です。

こんなところにあります

2010年3月に
お茶大図書館の
ラウンジに
置かれました。



お茶の水女子大学附属図書館では、ラウンジを会場に、ミニピアノコンサートをほぼ毎月開催しています。音楽表現学コースの学生による本格的なクラシック曲の生演奏を、サロンのような気軽な雰囲気を楽しめるもので、図書館を訪れる利用者と演奏者双方から好評を得ています。

Standard ピアノ演奏 20分	X'mas Special 声楽×ピアノ 30分	七夕Special 1 朗読×ピアノ 30分	七夕Special 2 箏曲×箏曲部 15分
--------------------------	--------------------------------	------------------------------	------------------------------

3年目を迎えた今、
その内容も次第に広がりを見せはじめています。



図書館で コンサート!?

図書館でのコンサート実現には
さまざまな課題がありました

静かな学習環境が
当たり前なのに
音楽が流れても
いいの？

問題点

勉強に
集中できない
という学生が
いるかもしれない。

そこで
工夫しました

時間帯
リラックスできる
お昼の短い時間(15分程度)

広報 早めにする。

時期
試験期や、
論文締め切り日
周辺を避ける。

勉強しながら、
ドリンクを飲みながら、
雑誌を読みながらでも、
立ち見でもOK。

成果

- 定例化したことで、認知度が上がった。
- 教育的効果 演奏する学生にとって
サロンコンサートという発表の経験ができる。
- 本格的クラシック音楽に触れる機会。

ピアノコンサート担当 小坂先生にインタビュー

実際に体験して
自分でわかるということもあります。

人前で演奏するというのは、人に言われていてこうだと思ふより実際に体験して自分でわかるということもあります。「常に自分の演奏に集中されている」とこと、「自分の力でその場に居合わせた人を惹きつける」とことは、演奏家にとって車の両輪のようなものです。図書館ではある程度定期的にさせていただいているので、最初から楽しみにして来てくださる方もいれば、通りすがりの方を「何だろう？」ということから足を立ち止まらせることもあります。それはその演奏者のある種、力でもあります。図書館でのコンサートを体験した学生が、文京区の施設などオープンな場で演奏することもあります。試験の場のようにシーンとした静かであるけれども冷たい場で、教員が採点するだけといったものとは違う、人が集まる図書館という空間で弾かせてもらっているという経験が、一つ大きく力になっているのではないかと思います。



こさか けいた
小坂 圭太 准教授

本学文教育学部准教授。専門
はピアノ演奏学、東京芸術大
学大学院修士課程修了。授業
の傍ら、演奏活動にも多忙。



演奏者の声



また ゆか
前田 裕佳さん
芸術・表現行動学科
音楽表現コース 3年
演奏:2012年4月

ピアノは勿論、
歌曲にも興味があります。
演奏、伴奏、
人に教えるなど、
将来的にも音楽と関わって
いきたいです。

つのだ やすこ
角田 庸子さん
芸術・表現行動学科
音楽表現コース 2年
演奏:2012年7月
(オープンキャンパス)

授業で三味線や
ヴァイオリンなど、
ピアノ以外の楽器にも触れ
興味深かったです。
いずれは外国でも勉強したいです。

いしだ まき
石田 万紀さん
大学院博士前期課程
比較社会文化学専攻
音楽表現コース2年
演奏:2011年10月(オープ
ンキャンパス)、2012年5月
(ホームカミングデー)

修士論文作成
(「ブラームスの
楽曲分析について」)と
2月の修士演奏に
向けての練習を
頑張っています。
留学後はドイツに
留学を希望しています。

サロンの観客の反応も感じやすいので、
通常のコンサートよりも気を許して弾けます。

演奏曲をピアノコンサート後にレッスンで弾いたら、
先生から「良い方向に変わった」と言われました。
人に伝えるということを実感的に少し掴み、
それが自然に反映されていたのかもしれない。



2012年4月 ピアノコンサート

違う学科で学んでいる方に「こういう勉強を
している」と伝えられる機会だと思います。

聴いてくださっている方と近い場所で演奏できるのが
貴重だと思いました。
息づかいや表情を逐一感じることができ、
大きいコンサートホールでは体験できないことでした。



2012年5月 ホームカミングデー

図書館での演奏は観客との距離が近く、
オープンキャンパスでは熱心な視線を感じました。

演奏の機会が学内ではあまりないので、
こういった場合は嬉しいです。
図書館は良い意味でこじんまりしていて、
ベヒシュタインの良さや合っているように感じました。



聴衆の声

2012.10 ピアノコンサート開催時アンケート結果より

すごく
リフレッシュします。

気軽にふらりと
聴きに行けるところが
良いです。

昼休みに
リラックスできる
素敵なひとときでした。

心地良い
一時でした。

PCを利用したり
している人の中にも
耳だけかたむけている人は
結構います

次回も楽しみに
しています。

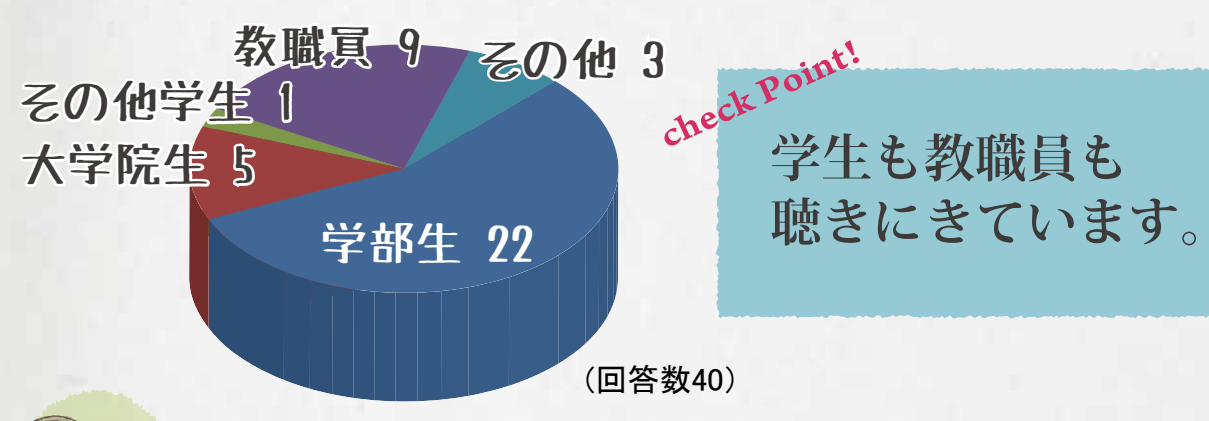
季節ごとのイベント、
楽しそうです。

ピアノ以外の
コンサートなども
あるとよいです

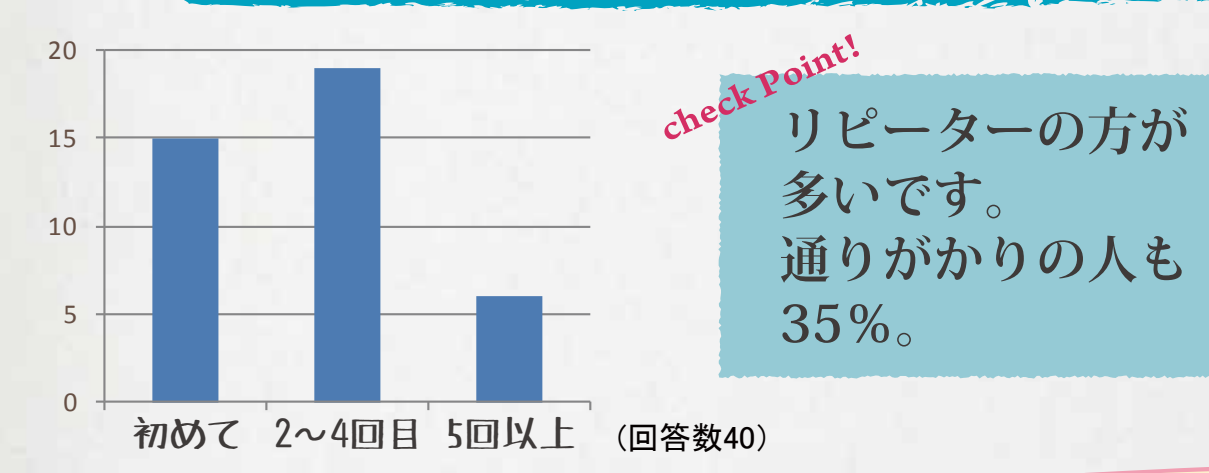
発表の場という意識で、
図書館が活用されるのは
とても良いことだと思う

こんな
貴重なピアノが
自分の大学の図書館にあり、
定期的に演奏を聴くことが
できるというのはとても
嬉しいです

Q1 所属を教えてください



Q2 聴きに来るのは何回ですか？



60%の方が「次回も来たい」と答えました。

Q3 感想や意見を聞かせてください

